

学び舎通信2 一步前へ

尾張旭市立旭中学校
2年学年だより
第4号
平成30年5月16日

限界とは

平安時代中期の書道にすぐれた三蹟（さんせき）の一人に、小野道風（おのみちかぜ、とうふうとも読みます）がいます。

まだ書道の達人と言われる以前の話に、次のようなものがあります。

彼は、「自分の字が書けない」という悩みを抱えていました。自分が書く字は、先生の書いた字をまねしているだけだと感じています。そんな時、道風を訪ねてきた友人に、気晴らしの散歩を勧められたのです。

外は雨です。傘を差して歩いていると、柳の木の生えた池のほとりまで来ていました。風に揺られた柳の葉を見ると、ゆらゆら揺れる柳の葉っぱのように自由な字が書きたいと思うのです。この時一匹のカエルの姿に気付きました。カエルは柳の葉先に止まっていた虫を狙っているようです。しかし、ずいぶん距離があります。どうせ無理だろう。そう思った通り、カエルは虫を捕らえることはできませんでしたが、その後も何度もチャレンジして、とうとう虫を捕らえることができました。「あのカエルを手本にして頑張ろう」という決意が彼の書道の上達につながるきっかけになったのです。自分の限界はどこだろう…そんなことを考えさせられます。

躍動、炎舞隊リハーサル

9日（水）に炎舞隊リハーサルが行われました。朝から降った雨が降り続くことを心配しましたが、午後からの強い日差しが運動場の土をしっかりと固めてくれました。キャンプ実行委員の人たちは炎舞の準備をしました。どの実行委員も責任感をもって動いていました。当日の動きを確認することができたと思います。



リハーサルでは、炎舞隊の息の合った動きを見て成長を感じました。中庭等で活動している様子は、時折見えてきました。全員そろっての動きは初めて見たのですが、感心する出来映えでした。これまで時間をかけて、懸命に取り組んできたことを形にできました。

炎舞隊メンバーの生徒からは、「炎の音がすごくて、音楽が聞こえづらかった」という声も聞いています。当日も海風、波の音がする可能性があります。課題が出てきたら修正し、当日、天候に恵まれた中で充実した演舞ができることを期待しています。

一抹の不安が残ります・・・

この前の日曜日、朝起きると外には激しい雨が降っていました。これだけの雨だと、国立若狭湾青少年自然の家のある若狭のほうの天気も気になり始め、さっそくホームページで確かめてみました。週間天気予報を下に示しました。もちろんあくまで予報ですから、今後の気圧配置で天候も変わってくると思いますが、当日は雨かもしれないと考えて、しおりをよく見ておくようにしてください。

5月18日(金)・・・曇り時々雨 (降水確率80パーセント)

19日(土)・・・曇り時々雨 (降水確率60パーセント)

20日(日)・・・曇り (降水確率30パーセント)

〈5月15日17時発表〉

【参考ホームページ:気象庁ホームページ-週間天気予報:福井県 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/326.html>)】

雨天の場合、いくつか野外活動の進行に変更が出てきます。

1日目 〈しおり p.11〉

- ・ハイキング入所 → バスで入所
※ バスから降りた後は、なるべく早く荷物の持ち運びをしてください。この後、退所する学校のバスがやってくるので協力をお願いします。
- ・入所式(つどいの広場 → トビーホール)
- ・ウォークラリー実施
- ・ファイヤータイム → 2日目のナイトタイムと入れ替え

2日目 〈しおり p.12~14〉

- ・海の活動 → 学年運動会(午前:E・F・G・H、午後:A・B・C・D)
- ・カッター → 百人一首大会(午前:A・B・C・D、午後:E・F・G・H)
※ カッターについては、荒天案もあります。しっかり確認しておいてください。

今週の金曜日からの2泊3日で、からっと晴れた青空を期待するのは難しいかもしれませんが、しかし、ハイキング・ファイヤータイム・シーサイドタイムなどの屋外で活動する行事のときには、曇りでとどまって体験できるといいですね。野外活動の2泊3日は雨が降らないよう祈っています。 【文責:水野 千広】

